

2016年度のレスポンシブル・ケア活動

事業活動に伴う資源・エネルギーの投入量、製品の生産量、廃棄物・その他環境への排出量を把握し、環境負荷の低減に努めています。また、環境保全対策に要したコストとその効果を評価するために、環境会計を実施し公表しています。2016年度における活動の概要は以下のとおりです。

2016年度レスポンシブル・ケア活動実績および2017年度目標

項目	2016年度 目標	実績	自己評価	2017年度 目標
環境保全	環境負荷の低減 全社的なエネルギー管理と 省エネルギーの推進	エネルギー原単位 前年度比 11.2%増加 (P8)	×	環境負荷の低減 全社的なエネルギー管理と 省エネルギーの推進
	排水の自主管理値以下での管理	COD排出量 前年度比 6.8%減少 (P9)	○	排水の自主管理値以下での管理
	廃棄物の発生抑制および適正処理	廃棄物等総発生量 前年度比 14%減少 (P10)	○	廃棄物の発生抑制および適正処理
労働安全衛生	労働災害の撲滅 作業環境の改善	休業災害 4件 (P11)	×	労働災害の撲滅 作業環境の改善
保安防災	設備災害の撲滅	設備災害 0件	○	設備災害の撲滅
物流安全	物流安全の確保	物流事故 0件	○	物流安全の確保
化学品・製品安全	化学品・製品の安全確保	重大製品事故 0件	○	化学品・製品の安全確保
社会との対話	社会への情報公開推進 地域社会との交流推進	『レスポンシブル・ケア レポート2016』発行 各事業所において地域社会との交流を推進 (P13)	○	社会への情報公開推進 地域社会との交流推進

環境会計

集計範囲：当社単体
対象期間：2015年12月1日～2016年11月30日

環境保全コスト

単位：百万円

分類	おもな取り組み内容	投資額	費用額
1	事業活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト（事業エリア内コスト）	79	279
	内訳		
	公害防止コスト	46	116
	地球環境保全コスト	19	0
	資源循環コスト	15	163
2	事業活動に伴ってその上流または下流で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト（上・下流コスト）	0	10
3	管理活動における環境保全コスト（管理活動コスト）	9	68
4	研究開発活動における環境保全コスト（研究開発コスト）	0	90
5	社会活動における環境保全コスト（社会活動コスト）	0	0
6	環境損傷に対応するコスト（環境損傷対応コスト）	0	0
合計		88	447

- *投資額：環境保全に関する設備投資
- *費用額：環境保全に関する減価償却費、維持運営費
- *四捨五入により、合計値が一致しない場合があります。

環境保全効果

環境保全効果に伴う経済効果 単位：百万円

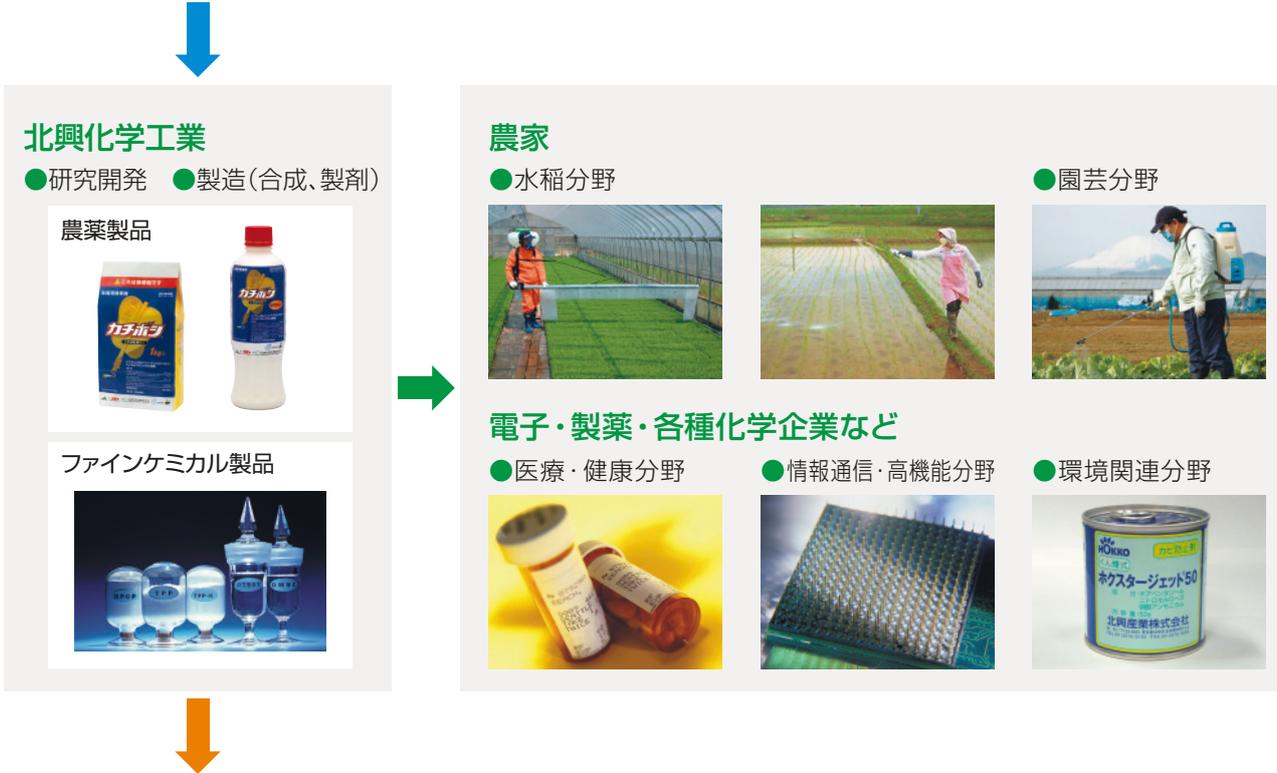
環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2015年度	2016年度	対前年増減量
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量 (kL)	12,925	11,821	-1,104
	上水道使用量 (千m ³)	404	382	-22
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	36,724	33,271	-3,453
	COD排出量 (t)	16.2	15.1	-1.1
	廃棄物等総排出量 (t)	7,286	6,272	-1,014
	リサイクル量 (t)	3,907	4,002	95
	廃棄物最終処分量 (t)	925	644	-281

効果の内容		金額
収益	有価物売却	6

*環境省「環境会計ガイドライン2005年版」、(社)日本化学工業協会、日本レスポンシブル・ケア協議会「化学企業のための環境会計ガイドライン」に準じて算定しています。

■北興化学工業の事業活動とインプット、アウトプット(集計期間:2015年12月1日~2016年11月30日)

総エネルギー投入量(原油換算)		総物質投入量		水資源投入量	
電力	6,353kL	農業部門	14,775t	上水道	382千m ³
燃料	5,468kL	ファインケミカル部門	16,308t		



製品			水域		廃棄物	
農薬製品	11,533t		総排水量	2,699千m ³	廃棄物等総排出量	6,272t
ファインケミカル製品	3,741t		COD排出量	15.1t	リサイクル量	4,002t
					廃棄物最終処分量	644t
温室効果ガス排出量			大気		輸送	
CO ₂ 排出量	33,271t-CO ₂		SOx排出量	7.0t	CO ₂ 排出量	1,628t-CO ₂
			NOx排出量	19.9t		
			ベンゼン排出量*	0.30t		
			ジクロロメタン排出量*	0.14t		

算出方法

エネルギー量 原油換算 : 「エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則」に基づき換算
 CO₂排出量 : 環境省、経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に基づき算出
 SOx排出量 : 重油の硫黄含有量からSO₂として算出
 NOx排出量 : 環境省「環境活動評価プログラム-エコアクション21-2001年3月改訂版第2刷」に基づき算出
 廃棄物最終処分量 : 直接埋立処分される産業廃棄物量および産業廃棄物で埋立処分が予想される外部委託処理後残渣量を算出
 物流におけるCO₂排出量 : 環境省、経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に基づきトンキロ法により算出

* 有害大気汚染物質(優先取組物質)のうち、当社において排出量の多い物質のみを記載しています。